

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 15 日

事務事業名		きらり健康プランの進行管理事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	010201000322
		財務会計上の位置付け					単独/補助	単独	所属課	040401 健康推進課
政策体系	総合計画の施策名	0102 健康づくりの推進							課長名	
	政策名	01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり							グループ	健康づくり
	施策名	02 健康づくりの推進							担当者名	
	手段名	01 ①健康づくりの推進								
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	事業期間			
	01	04	01	01	02	00	単年度繰返し (令和 2 年度～)			
法令根拠	一般会計 保健衛生総務事業						☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 計画期間は令和2年から令和6年の5年間。令和2年度以降、毎年事業の進捗状況を確認する。進捗管理状況については、健康づくり推進協議会に諮る。第2次プランの評価及び第3次プラン策定の基礎資料とするために、令和5年12月に市民アンケート調査を実施した。11月27日から12月27日までパブリックコメントを実施。1人から2件の意見があった。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 進捗管理 ・年度ごとの計画と進捗状況の確認 ・各目標ごとのアンケート調査・集計 ・基礎データ収集とアンケートの実施 ・策定委員の委嘱、委員会の開催 (2回/年) ・第3次きらり健康プラン 期間：令和7年～令和12年 パブコメ令和6年11月27日から12月26日

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
各計画ごとに目標を設定し、5年毎に見直しを行う。また、毎年策定委員を開催し進捗状況の確認をする。	策定委員数	人	16.00	16.00	16.00	16.00	16.00
	策定委員会開催回数	回	1.00	3.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
市民	市民の人口	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
	回答市民数(市民アンケート)	人	702.00	700.00	700.00	700.00	700.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
市民が生活習慣病への関心と理解を深め、自からの健康状態を自覚し、生涯にわたって健康保持・増進に努められるようになる。	自分が健康で元気に暮らしていると思う人の割合	%	73.40	80.00	80.00	80.00	80.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	内訳	単価	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
入	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	3,546	2,404	39			
	事業費計 (A)	千円	3,546	2,404	39				
量	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	102		01 報酬	36	
	10 需用費	3		10 需用費	3	
	12 委託料	2,299				
	合計		2,404	合計		39

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	関係機関に策定した「第3次きらり健康プラン」を配布し啓発活動を行う。進捗状況の確認を行い現状を把握する。また、健康づくり推進協議会で第3次きらり健康プランの実施報告をし、委員の意見をまとめる。	啓発活動と同時に進捗状況の確認を行い現状を把握する。	啓発活動と同時に進捗状況の確認を行い現状を把握する。

		元をよめる。			
事務事業名	きらり健康プランの進行管理事業	事務事業No.	10201000322	所属課	健康推進課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成20年3月に桜川市健康増進計画を策定。平成25年度は、本計画の改訂と新たな食育推進計画及び歯科保健計画を一体化させ「きらり健康プラン」をH26年3月に策定した。平成28年4月改正自殺対策基本法が施行され、市町村は自殺対策計画策定が義務付けられた。令和元年度に、母子保健計画及び自殺対策計画を加えた第2次桜川市きらり健康プランを策定した。さらに令和7年3月にいままでの計画の進捗状況を踏まえつつ市民の更なる健康増進に取り組むため、第3次桜川市きらり健康プランを策定した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
きらり健康プランの策定により、改めて市の健康課題が明らかにされたので、関係機関や団体、学校等とできるだけ連携や協力を図り推進して欲しい。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市第2次総合計画の施策に「健康づくりの推進」が設定されており、健康づくり全般の方向性や目標を定めるきらり健康プランを策定及び推進することは、政策体系と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 早期から生活習慣病を予防し、健康の保持増進を図ることで医療費の軽減につながる。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 計画策定に関する事務については、特に向上の余地はない。計画の進捗管理については、毎年度計画書の主な指標を確認し事業を計画的に展開することで、成果が向上すると思われる。
効率性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 計画に基づいた生活習慣病予防による健康の保持増進を進めることは、疾病の一次予防に繋がるものである。事業を休止することで重篤な生活習慣病にいたる市民が増加すれば、経済的にも社会的にも大きな損失を招くことになる。
公平性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 健康増進計画・食育推進計画・歯科保健計画・母子保健計画・自殺対策計画の5計画を一体化させ、具体的な健康づくり活動目標を示している計画なので統廃合はできない。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 計画の進行管理については予算化していない。第3次計画の策定にあたっては、委員報酬及び委託料を予算化しているが、必要最低限の措置であって削減の余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民誰もが自分のライフスタイルに合わせた健康づくりができる計画であるので、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	アンケート調査結果及びその他、事業実績の集計及びデータ等をもとに現状を分析し、事業計画策定。各分野及びライフステージごとに市民が取り組むべきこととそれを図るための成果指標を設定することで、今後の事業が具体的に・計画的に進められるよう努めた。第3次プラン策定について適切に業務委託を行った。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>